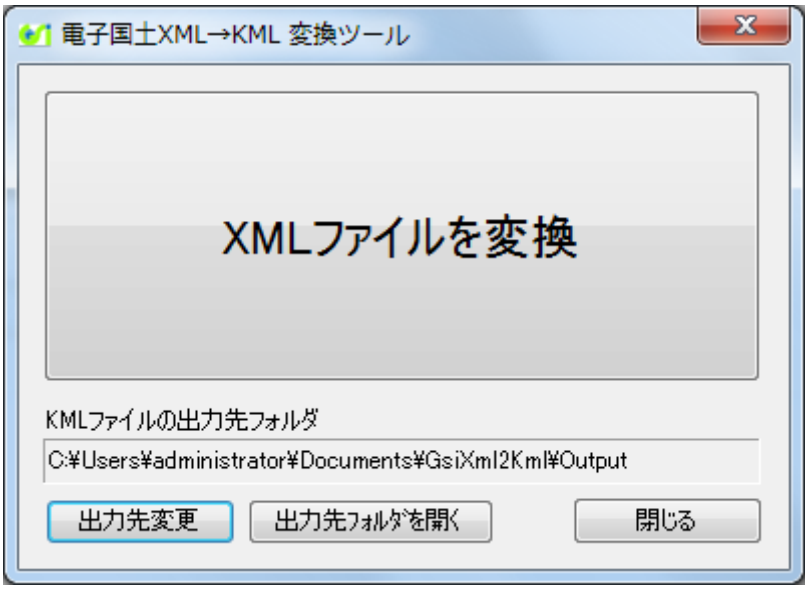
電子国土 XML→KML 変換ツール(GSIXML2KML)

2013/02/15　　国土地理院

GSIXML2KML.exe により、電子国土用の XML ファイルを KML 形式のファイルに変換することができます。

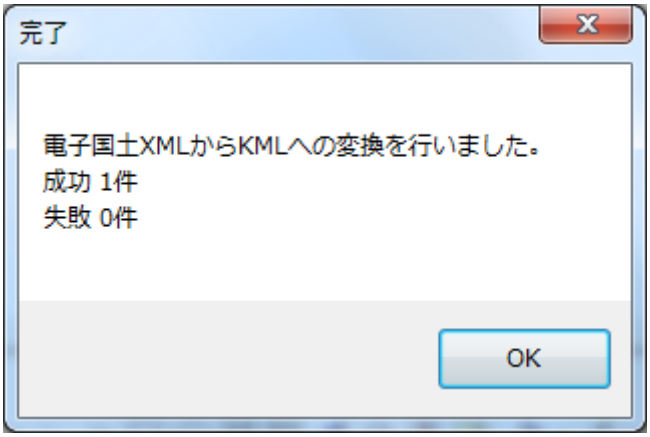
GSIXML2KML.exe を実行すると、下のような画面が表示されます。



XML ファイルの変換

「XML ファイルを変換」ボタンを押すと、ファイルを選択する画面が開きます。
電子国土 XML ファイルを選択すると、ファイルが KML 形式に変換され、
『KML ファイルの出力先フォルダ』の中にファイルが出力されます。

出力が完了すると、メッセージ画面が表示されます。



・出力されるファイルの名称は、変換元のファイル名＋“.KML”です。
・一度に複数のファイルを選択して、一括で変換することができます。

GSIXML2KML の機能について

出力先フォルダの変更：

出力先フォルダを変更することができます。「出力先変更」ボタンを押すと、フォルダを選択する画面が開くので、任意の出力先のフォルダを選択してください。

出力先フォルダの表示：

「出力先フォルダの表示」ボタンを押すと、エクスプローラで出力先のフォルダを開くことができます。

変換可能なファイル形式について

全ての電子国土 XML ファイルには対応していません。
特に、座標値の記載方法について注意が必要です。

座標値が「経度、緯度」の順で記載されているファイルのみ変換に対応しています。
「緯度、経度」の順に記載されているものや、「平面直角座標系」で記載されているものは変換に対応していません。ご了承ください。